フランス領マヨット島で活躍するITCの取引先

フランスの公共放送「France Télévisions (FTV)」 で紹介されました！

弊社のリース先運航会社の人道支援活動がフランスの公共放送「FTV」のニュース専門サイト「Franceinfo」で紹介されました。

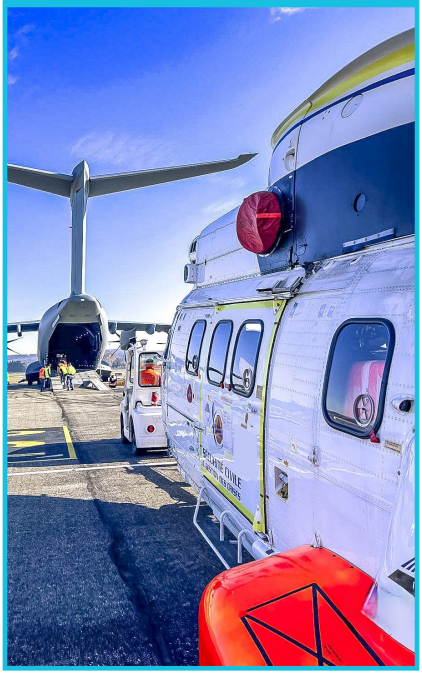
■ 過去90年間で最強クラスのサイクロンがマヨット島を直撃

時速225キロを超えるサイクロン・チドが、2024年12月14日にフランス領マヨット島を直撃。フランス領となって以降90年間で最強クラスのサイクロンとなり、死者数は1,000人を超えるとされています。サイクロン通過後は、略奪が横行した事で、フランス政府は1,200人規模の治安部隊を駐留させる等、生活インフラの復旧と治安の安定化が重要課題となっています。米研究機関クライメート・セントラルによれば、この海域の異常高温の発生確率が気候変動により最大92倍増加したと試算されており、サイクロンの勢力拡大につながった可能性が指摘されています。

災害直後のマヨット島の荒廃した風景

(出所) Al Jazeera

ITCのリース先運航会社
(機体移送中の様子)



(出所) 弊社リース先

■ サイクロン通過後の復興支援活動の様子

マヨット島の人口は約32万人で、内約75%は貧困ライン以下の生活を送り、3人に1人が失業者とされる最貧困地域の1つです。この為、サイクロン通過後に電気や水道などの生活インフラが破壊され、食料や避難所の不足が深刻化した事で、住民の生活はさらに悪化しました。弊社のリース先であるフランスの運航会社は、フランス政府の要請を受け、最大4.5トンの機材を搭載できるスーパー・ピューマ（ヘリコプター）を使用し、50トン以上の水や食料を被災地に輸送。更に、道路や河川の障害となる瓦礫や倒木の撤去、インフラ復旧を支援するための電力復興活動などを実施しました。また、現地のエスクリム野戦病院への患者移送などを通じて、人命救助にも貢献しています。同社は85機以上の機体を約40の海外拠点に展開し、国連や欧州政府機関向けに人道支援や救急医療活動を行い、世界の福祉向上に貢献しています。弊社もその社会的使命に深く共感し、共に成長していくことを目指しています。

ITCは「公共性」・「社会貢献性」の高いリース事業を法人・個人の投資家様にご提供して参ります。ご関心をお持ちいただけましたら、是非ご連絡ください。